

愛寿会だより

7月号
第193号
平成27年
7月10日発行



6月3日(水)に行われた「感染症研修会」の様子

感染症研修会

中北保健福祉事務所 峡北支所 (資料提供)

毎年二回実施している感染症研修会のうち第一回目を六月三日(水)に実施致しました。今回は、夏季に向け食中毒の増える時期となつて参りましたので食中毒の予防について中北保健福祉事務所峡北支所 衛生課 技師の柳本祥子様を講師にお招きし、お話をさせて頂きました。以下は研修会の内容について記載させていただきます。

・食中毒予防の三原則について

食中毒の予防で重要なのは一、つけない。二、ふやさない。三、やつつける。です。

一、つけない

「つけない」で重要なのは手洗いです。手にはさまざまな雑菌が付着しています。食中毒の原因菌やウイルスを食べ物に付けないように、次のようなときは、必ず手を洗い消毒することが重要です。

調理を始める前、生の肉や魚、卵などを取り扱う前後、調理の途中でトイレに行ったり、鼻をかんだりした後、おむつを交換したり、動物に触れたりした後、食卓につく前、残った食品を扱う前です。

二、ふやさない

「ふやさない」で重要なのは食材を低温で保存する事です。細菌の多くは高温多湿な環境で増殖

が活発になります。十℃以下では増殖がゆっくりとなり、マイナス十五℃以下では増殖が停止します。

なお、冷蔵庫に入れても、細菌はゆっくりと増殖しますので、冷蔵庫を過信せず、早めに食べるのが大事です。冷蔵庫は内容量を七十%程度にするのが望ましい保存方法です。

三、やつつける

「やつつける」で重要なのは食材の加熱です。ほとんどの細菌やウイルスは加熱によって死滅します。肉や魚はもちろん、野菜なども加熱するのが安全です。加熱は中心部を八十五℃一分以上が目安です。

今回のお話をお聞きして多くの方と接触する機会が有る中でまずは個人が食中毒予防の意識を高め、取り組んでいくことが重要だと感じました。特に、手洗いについては感染症の予防において一番身近で重要な感染対策となります。以前より心掛けて取り組んでいましたが今後も職員一同、職場内・家庭内において徹底し、感染症の予防に努めていきたいと思えます。

また、ご家族様に置かれましても感染症の予防として、来園の際にマスクや消毒の実施等、今後ともご理解とご協力を頂きますようよろしくお願い致します。

読み聞かせボランティア

六月八日(月)、北杜市大泉町にお住まいの山口様・中島様に「読み聞かせ」を三階フロアーにて行っていただきました。

利用者様にとっては懐かしい紙芝居の雰囲気です、「昔を思い出すわ」「子供の頃の楽しい思い出がよみがえる」などと、周りの方々と話され、皆様自然と笑顔になり、一生懸命お話を聞かれました。

途中で一息いれながら、ほっこりとしたムードで楽しいひと時を過ごされました。次回も利用者様、ケアワーカー共に楽しみにしています。



グループホーム「やすらぎ」春の家族会

今年の「春の家族会」は、大型バスに乗って国宝四城の一つ「松本城」の見学に出掛けて来ました。

天候にも恵まれた六月七日(日)、入居者様は家族の方々と一緒にお城の周りを散歩されたり、松本駅前のホテルで信州の郷土料理の昼食をいただいたりしました。



入居者の皆様は高齢ですが、御家族の方々と思い出のページを作られたことと思えます。また、職員も皆様との親睦を図ることができ、楽しい一日を過ごすことができました。

仁生園デイサービスセンター「デイサービス」とは

要介護、要支援認定を受けられた方を対象に、入浴や食事、レクリエーション活動等の各種サービスを提供する介護保険サービスの一つです。

各種運動メニューやレクリエーション活動を通じて体力の維持向上を目指し、一日でも長く在宅で自立した生活を続けられるよう支援いたします。



『筋力維持活動 体力作り』

高齢となり、外出する機会が減少する中で、デイサービスを利用する事で外出の機会を持ち、他のご利用者様やスタッフと接することで気分転換を図るといって面心共に大きな意義があると考えています。

また、デイサービスをご利用いただく事で、ご家族の皆様方がご自身の時間を有意義に過ごしていただく、という役割も担っています。

ご利用のお問い合わせ等ございましたら、仁生園デイサービスセンターまでご連絡ください。

(直通 三二一七四二五)
(代表 三二一三三四〇)



『手芸・工作活動 巣箱作り』

また、六月二十五日(木)生活支援ハウス「こあらま」にも読み聞かせのボランティアに来ていただきました。日本一周だじゃれ巡りというお話で、その地方の名所や名物などダジャレを盛り込みながら、面白おかしく日本一周しました。

仁生園 夏まつり実行委員会

実行委員長 保坂 千秋

仁生園「夏まつり」。今年は二十五日(土)に実施することになりました。

沢山の屋台の出店を予定していましたが、今年は小荒間地区有志の方々による「そばすいどん」も出店されます。

アトラクションは、清水恵美子様のご歌、寿美浩会様の舞踊、北杜幸一様の歌謡ショーを予定しております。

祭りの最後には、打ち上げ花火・ナイアガラにも期待して下さい。

『楽しい思い出に残るような夏まつりにしたい』と職員一同頑張っております。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



大勢の参加者で賑わった昨年の夏まつり 仁生園(上)・第二仁生園(下)

第二仁生園 夏まつり実行委員会

実行委員 福田 稔・平島江一

第二仁生園では利用者様、職員が協力して、毎日コツコツと準備に取り組んでいます。

愛寿会後援会からご寄付頂いた太鼓4基での演技披露も六年目を迎えました。



今年、春からご家族様が都内より何度

もご指導に来ていただき、今では息の合った四名の太鼓隊となつていきます。太鼓隊の皆さんが練習をしていると、他の利用者様がワイワイ集まって来て、演技曲の「武田節」を口ずさんいる光景を見ますと、是非！当日は晴れて欲しい

と願わずにはいられません。

そして、今年も北杜市高根町の「よさこいボランティア華風舞姫(はなふぶき)」の皆様による踊りの披露もあります。今年は何んな舞踊か楽しみです。

屋台では、昨年好評でした地元業者様のご協力による美味しい焼きとりも沢山用意しました。

七月二十九日(水)午後六時より行います。平日の夜ですが、夏の夜を涼みながらのお越しをお待ちしております。

第二仁生園 野点を楽しみました

六月二日(火)北杜市高根町の伊藤京子様他三名のボランティアが来園し、野点を楽しみました。昨年引き続き二回目の来園です。

伊藤様からお茶の作法のお話と、畳敷きでお茶立ての実演をして頂きました。



和装の皆様からの和菓子とお茶の振る舞いで「結構なお点前でした。」と笑顔で会話されていました。

感謝

平成二十七年六月一日

平成二十七年六月三十日

愛寿会・仁生園・第二仁生園へのご協力ありがとうございました。

いつもご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様に、よりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。

何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

略儀ながら、お礼状に替えさせていただきます。

ボランティア活動

・レクボランティアほかグループ
代表 吉田 道子 様

・レクボランティアゆづつこの会
代表 佐野 恭子 様

・北杜市
うたなかま八ヶ岳 様

・北杜市
保坂 多枝子 様

・北杜市
伊藤 京子 様

・北杜市
青柳 昭次 様

・北杜市
山口 潤子 様

・北杜市
山本 美根子 様

・三鷹市
山本 美根子 様

愛寿会後援会へのご協力

・北杜市長坂町
北原 久 様

・北杜市大泉町
北原 義忠 様

・北杜市小淵沢町
笹沼 文孝 様

・北杜市小淵沢町
茅野 光一郎 様

・北杜市長坂町
小松 会計事務所 様

・北杜市長坂町
入江 薫 様

・三鷹市上連雀
橘 徹 様

・北杜市長坂町
向井 嘉夫 様

・北杜市大泉町
三井 夏樹 様

・甲斐市龍地

・日野市神明

・北杜市小淵沢町

・北杜市長坂町

・北杜市大泉町

・北杜市白州町

・北杜市小淵沢町

・北杜市高根町

・北杜市小淵沢町

・北杜市長坂町

・北杜市白州町

・北杜市長坂町

・北杜市大泉町

・甲府市東光寺

・北杜市小淵沢町

・北杜市須玉町

・北杜市長坂町

・茅野市宮川

山坂 一昭 様

木村 邦昭 様

細野 昌一 様

坂本 美登志 様

藤原 登美子 様

名取 富雄 様

進藤 純世 様

浅川 一紀 様

清水 輝隆 様

(有)八ッ麓自動車

三井 泰子 様

小澤 和正 様

萩原 肥料店 様

(株)早野組 様

興石 幸徳 様

櫻井 義長 様

板山 恵美子 様

堀込 隆 様

坂本 良廣 様

井出 武男 様

櫻井 美智子 様

岩下 正代 様

田中 勝海 様

桜井 莊一 様

小池 和夫 様

白砂 光男 様

八木 みなと 様

進藤 茂男 様

早川 孝子 様

小林 明子 様

小松 誉 様

相良 昭 様

清水 洋平 様

清米 香宏 様

内藤 久明 様

濱藤 久明 様

・甲府市中央

・北杜市長坂町

中山 ユニホーム 様

田中 顕治 様

藤森 一幸 様

堀本 昌子 様

坂本 祥潔 様

伊藤 祥子 様

小尾 治 様

フジデン キ 様

大久保 達子 様

武田 和久 様

小尾 章臣 様

初任者研修

「初心忘れず・・・」

今年度、最初の研修「初任者研修」が、昨年五月以降の就職者を対象に行われました。愛寿会の歴史や職員としての心構え、介護の基本等々、極めて当たり前のことですが、一つ一つ領きながら聞いてくれる十名の新人さんの姿勢に、敢えてこの仕事を選んだ人達の「優しさ」「強さ」を見る思いがしました。



愛寿会サービスへのご意見・ご要望や施設見学等のご希望がありましたら左記までご連絡ください。
仁生園 電話 0551(32)3340
第二仁生園 電話 0551(32)8270